

7-4 北陸-近畿および近畿-山陰地殻活動総合観測線における地殻変動連続観測結果 (2002年11月~2003年10月)

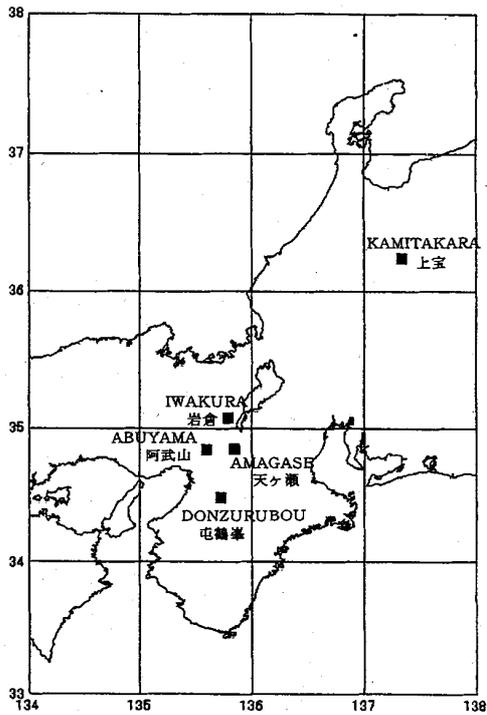
Continuous Observations of Crustal Deformations at Observarion Network of Crustal Activites in Kinki and Hokuriku District.(Preliminary Report; Nov.1,2002 - Oct.31,2003)

京都大学防災研究所 地震予知研究センター
Research Center for Earthquake Prediction,
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University.

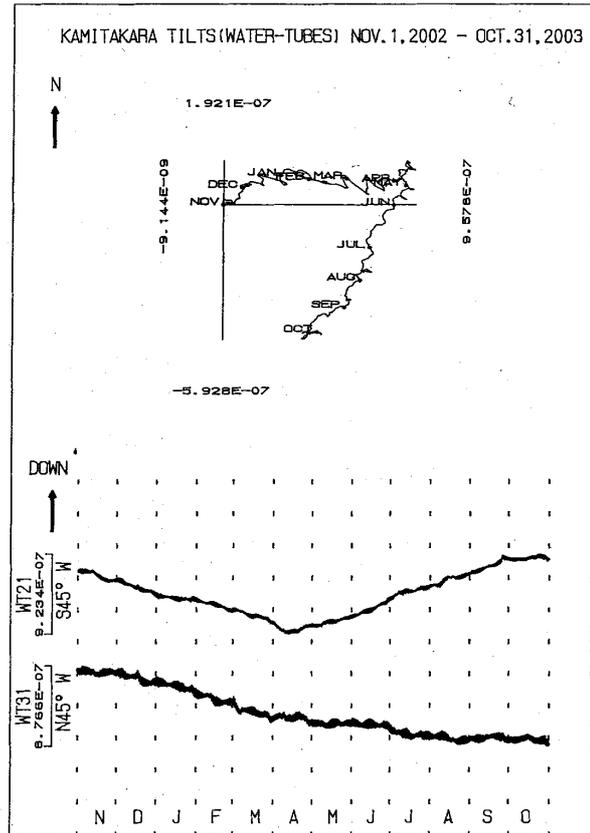
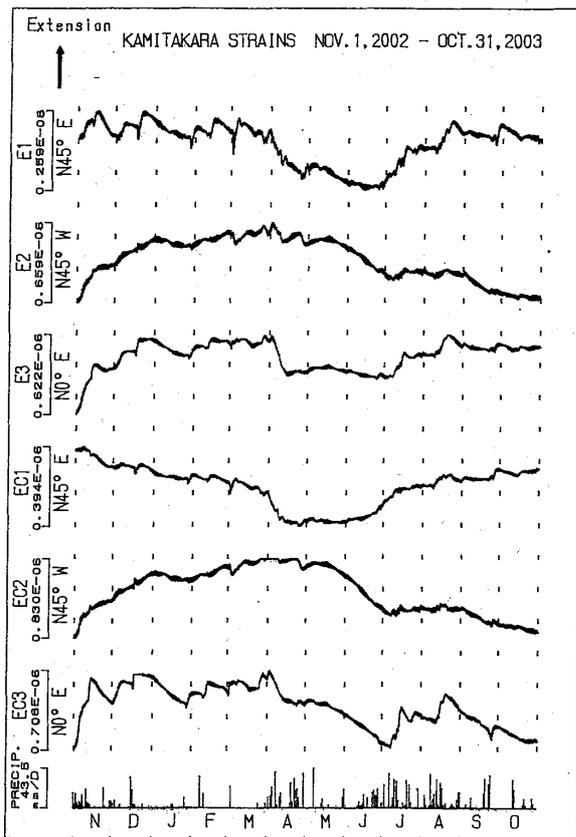
北陸-近畿および近畿-山陰の両地殻活動総合観測線を構成する観測点のうちから、第1図に示す上宝蔵柱、屯鶴峯、阿武山、天ヶ瀬、岩倉の5点で観測された最近1年間(2002年11月~2003年10月)の地殻ひずみ変化と降水量を第2図から第4図に示す。上宝蔵柱では傾斜変化と同ベクトルも示す。

上宝蔵柱の歪図は基本3成分を上段に、それぞれの中間センサー出力を下段に示しているが、歪表示のため量的にも類似した変化となっている。前年同期には集中した降雨が何度かありその影響がいくつかの時期に際立っていたが、今期では年間を通じて平均的に出現し全体としては季節変動が卓越する標準的なパターンとなっている。近畿地方では、屯鶴峯のSE-2(N4.5° E)、阿武山のN58° E、天ヶ瀬のN62.5° Eがいずれも $0.5\sim 2\times 10^{-6}$ の収縮に転じまたは加速しており、岩倉でも前年との比較はできないがN15° Eでは 5×10^{-6} 程度の収縮となっているのが、全点共通の特徴である。それぞれの直交方向では顕著な変化はみられない。今期は特筆すべき地震は発生していない。

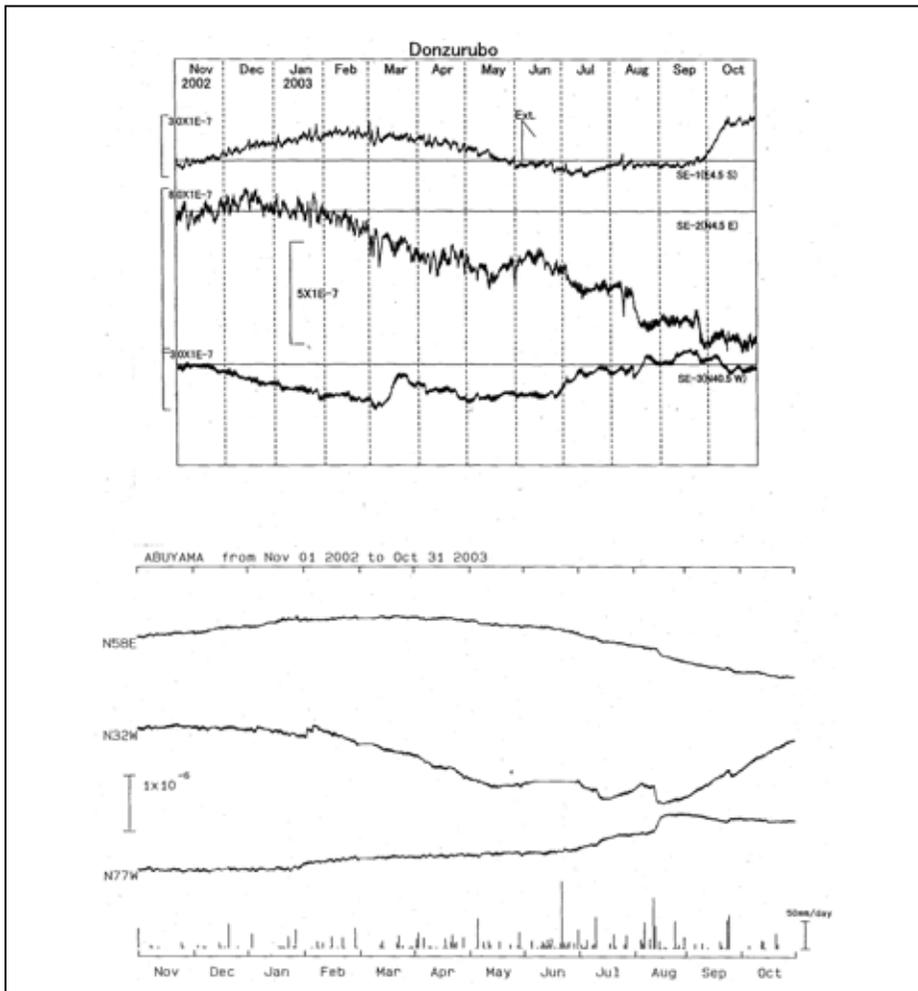
(大谷文夫)



第1図 観測点位置図
Fig.1 Observation stations.

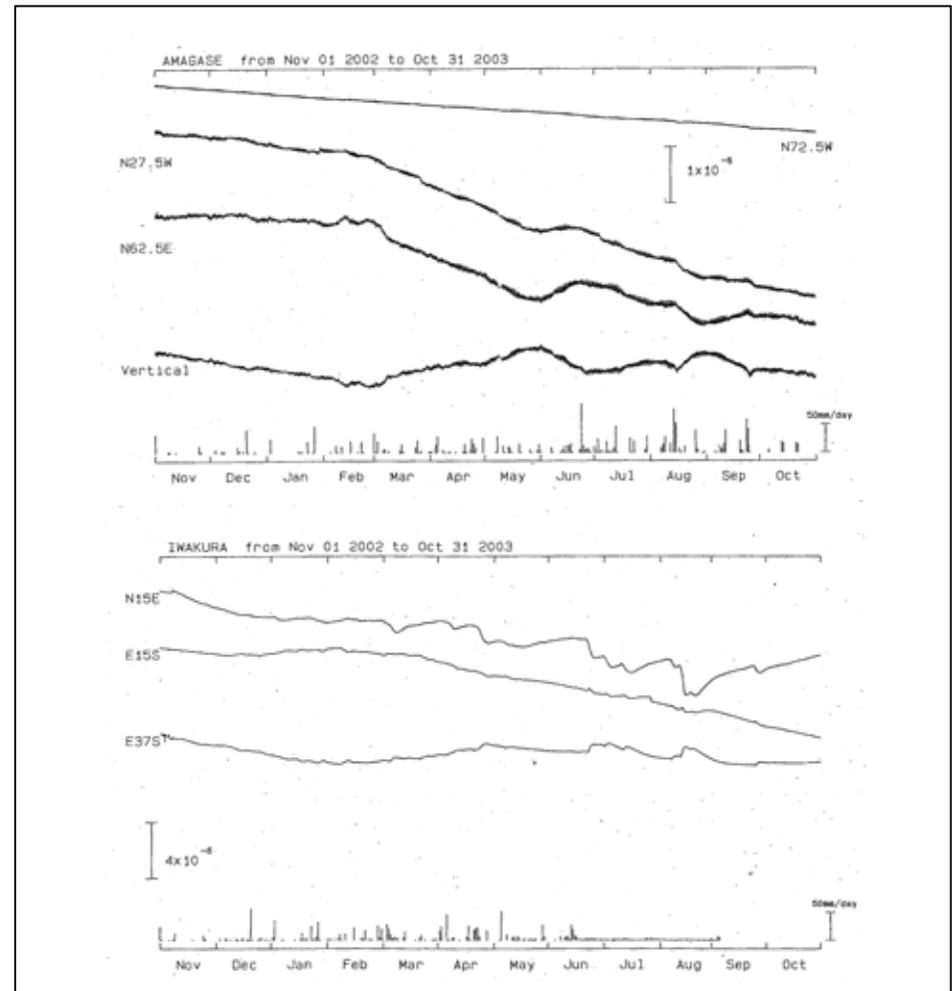


第2図 上宝観測所蔵柱観測室における歪・傾斜変化と日雨量 (2002年11月～2003年10月)
Fig.2 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Kurabasira station of Kamitakara observatory.
(Nov. 1, 2002 ~ Oct. 31, 2003)



第 3 図 屯鶴峯観測所における歪変化と阿武山観測所における歪変化、日雨量
(2002年11月～2003年10月)

Fig.3 Strain changes at Donzurubo observatory and strain changes and daily precipitation at Abuyama observatory.
(Nov. 1, 2002 ~ Oct. 31, 2003)



第 4 図 天ヶ瀬観測室と岩倉観測室における歪変化と日雨量
(2002年11月～2003年10月)

Fig.4 Strain changes and daily precipitation at Amagase and Iwakura station.
(Nov. 1, 2002 ~ Oct. 31, 2003)